

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00052)

施策	17	子どもの権利を尊重し育ちを支える環境の整備・充実
目標	06	すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち
施策担当課	子ども家庭部管理課	関係課 児童相談所設置準備担当

施策目標 支援を必要とする子どもや家庭への取組が充実・強化され、子どもの最善の利益を実現する社会づくりが推進されています。法的介入など専門性の高い機能を持つ区立児童相談所が設置され、これまで以上に迅速かつ確かな児童虐待対応が実施されています。子育てや就労などのきめ細かな支援の仕組みが整い、ひとり親家庭が個々の状況に応じて自立した生活を送ることにより、子どもの健全な育成が図られています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	要保護児童等新規受理件数	指標名(1)	児童虐待に関する相談・通告対応率
算式・指標説明		算式・指標説明	ソーシャルワーク実施件数÷要保護児童等新規受理件数【行政】
指標名(2)	子育て寄り添い訪問実施件数	指標名(2)	子育て寄り添い訪問事業により安全確認及び支援につなげた子どもの割合
算式・指標説明		算式・指標説明	安全確認及び支援につなげた子ども÷乳幼児健康診査未受診・保福サービス等を利用していない子ども【行政】
指標名(3)		指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	件	1,242	1,350	1,188	1,350	1,217		
	活動指標(2)	2	件	274	237	237	157	157		
	活動指標(3)	3								
	活動指標(4)	4								
成果指標	成果指標(1)	5	%	0	0	100	100	100	100%	令和12年度
	成果指標(2)	6	%	0	0	100	100	100	100%	令和12年度
	成果指標(3)	7								
	成果指標(4)	8								
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,670,718	1,771,026	1,653,175	1,794,834	1,668,161	特記事項 成果指標2の子育て寄り添い訪問事業は、杉並区子育て寄り添い訪問事業実施要綱で「ハロー！なみすけ訪問」と称することになっています。	
	人件費	12	千円	541,933	606,576	663,727	700,612	741,467		
	総事業費(11+12)	13	千円	2,212,651	2,377,602	2,316,902	2,495,446	2,409,628		
	国・都からの補助金等	14	千円	399,192	434,767	390,802	426,022	311,355		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15	%			4.7	5.0	4.0		
	人件費比率(12÷13)	16	%	24.5	25.5	28.6	28.1	30.8		

課題・分析	<p>区における新規の児童虐待対応件数は昨年度より108件の増となりました。子ども家庭支援センターでは、関係機関と連携し迅速な対応に努めましたが、虐待の原因は親子の問題だけでなく、子どもの発達課題、保護者の疾病、夫婦の関係など多岐に渡る場合も多く、養育状況改善による支援終了までに時間を要するケースが増加し、終了ケースは前年度より3.4%減少しました。また、108件の7割近くが就学前児童であり、保健センターによる特定妊婦の受理件数も増加していることから、これまでに以上に子ども家庭支援センターと保健センターが連携し、子どもの安全を守る必要があります。子どもと家庭の総合相談窓口「ゆうライン」、ひとり親の相談、母子・女性及び家庭相談窓口など、支援につながる相談体制の整備は進んでいますが、相談数は減少または横ばいです。近年の社会状況から、潜在化している支援を要する子どもや家庭があると考えられ、子どもが声を上げやすい方策や、声を上げない要支援家庭へのアプローチ方法などが課題と捉えています。</p>
-------	---

施策の成果	<p>荻窪地域に区内で2か所目となる地域型子ども家庭支援センターを設置し、子どもや保護者が相談に来やすい環境をつくとともに、家庭訪問や関係者会議の開催などの児童虐待対応が迅速に行える体制を整えました。こうした取組により、子ども家庭支援センター全体で、令和3年度より28件多い1,037件の児童虐待相談に対応しました。また、子どもと家庭の総合相談窓口「ゆうライン」の電話受付時間を20時まで拡大し、就労している保護者などが落ち着いて相談できる環境を整えました。子どもショートステイは、育児疲れによる利用希望者が多く、昨年度より利用日数が増加しましたが、委託先施設と連携をしながら子育ての負担軽減に努めました。</p> <p>ひとり親家庭の就労支援では、自立支援プログラムの策定などにより11人が就労につながりました。令和3年度に開始した養育費確保支援事業では、事業活用の促進を目的に、裁判外紛争解決手続き費用や調停等に必要戸籍等の取得費用を新たに助成対象に加え拡充を図りましたが、事業の性格上相談から申請に至るまで時間を要するため、2件の助成にとどまりました。</p> <p>区立児童相談所の令和8年度の開設を目指し、施設的设计や人材育成・確保のため他自治体の児童相談所へ9名の職員を派遣しました。また、高井戸地域に3か所目となる地域型子ども家庭支援センターの開設準備を進め、子どもが安心して地域で生活できる環境整備を進めました。</p>
-------	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p> <p>児童虐待の未然防止、早期発見による重篤化の防止を一層強化するため、研修の実施等により要保護児童対策地域協議会の発見、見守り機能の向上を図ります。また、子ども家庭支援センターのケースワーカーの支援力を向上させるため、経験年数を踏まえた計画的な研修に取り組みます。</p> <p>支援を必要とする子どもと家庭が、速やかに必要なサービスにつながるよう、改正児童福祉法により新たに規定された子育て世帯訪問事業や児童育成支援拠点等の実施、ショートステイ事業の拡充などに取り組みます。</p> <p>令和8年11月の児童相談所の設置に向け、その機能が十分に発揮できるよう、他自治体への派遣や集中的な専門研修の実施などの人材育成に取り組むとともに、子どもの意見表明等支援事業、社会的養育経験者の自立支援事業、親子再統合支援事業等の実施に向け検討・準備を進めます。</p> <p>ひとり親家庭への支援では、母子・父子自立支援員、就業支援専門員による自立支援給付金事業、養育費確保支援事業等に引き続き取り組みます。また、場所や時間を選ばずに様々な支援制度の確認ができるよう、デジタル技術を活用した相談の導入について研究を進めます。</p> <p>こうした取組や、子どもの社会参加・参画を更に推進することで、子どもの権利を尊重し、育ちを支える環境の整備・充実を図ります。</p> <p>今後の進め方</p>
--------------------------	---

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 17】【施策名称 子どもの権利を尊重し育ちを支える環境の整備・充実】

金額の単位は千円

(00052)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 202	母子・女性・家庭相談			2,602	23,207	25,809	現状維持
2 203	女性福祉資金貸付			714	9,837	10,551	現状維持
3 204	母子及び父子福祉資金貸付			2,042	17,827	19,869	現状維持
4 232	子ども家庭支援センター相談事業			8,218	62,389	70,607	現状維持
5 233	子どもショートステイ			30,602	16,750	47,352	推進（拡充）
6 234	児童虐待対策			28,810	428,270	457,080	推進（拡充）
7 236	ひとり親家庭支援			19,539	29,214	48,753	現状維持
8 237	児童扶養手当支給			713,444	28,129	741,573	現状維持
9 240	児童育成手当支給			524,898	12,316	537,214	現状維持
10 241	児童育成手当（障害手当）支給			46,637	4,063	50,700	現状維持
11 243	ひとり親家庭等医療費助成			87,231	21,754	108,985	現状維持
12 255	民営母子生活支援施設に対する保護委託			124,267	13,475	137,742	現状維持
13 275	見守り強化事業			6,152	11,611	17,763	推進（拡充）
14 283	区立児童相談所の設置準備			724	17,966	18,690	推進（拡充）
15 287	子ども家庭支援センターの維持管理			11,354	23,540	34,894	現状維持
16 296	区立児童相談所の整備			24,942	15,047	39,989	推進（拡充）
17 302	子ども家庭支援センターの整備			35,985	6,072	42,057	縮小（廃止）
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,668,161	741,467	2,409,628	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00053)

施策	18	子どもの居場所づくりと育成支援の充実
目標	06	すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち
施策担当課	児童青少年課	関係課

施策目標	子どもたちが安全・安心に過ごせる場所が整備されています。 子どもたちが成長段階に応じた豊かな遊びや多種多様な経験、人とのかかわりを積み重ねることを通じて、自主性や社会性を育むことができます。
------	--

活動指標		成果指標	
指標名(1)	児童青少年センター、児童館、子ども・子育てプラザ及び放課後等居場所事業利用者数	指標名(1)	放課後等居場所事業利用者の満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	放課後等居場所事業の利用者アンケート結果【区民】
指標名(2)	次世代育成基金活用事業参加児童・生徒数	指標名(2)	
算式・指標説明	各事業の参加人数の合計	算式・指標説明	
指標名(3)	学童クラブ入会児童数	指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 人	758,455	863,000	1,138,020	1,121,000	1,233,881		
	活動指標(2)	2 人	162	439	272	758	673		
	活動指標(3)	3 人	4,851	5,178	4,983	5,432	5,490		
	活動指標(4)	4							
成果指標	成果指標(1)	5 %	0.0	0.0 以上	0.0	85.0 以上	94.2	85.0% 以上	令和12年度
	成果指標(2)	6							
	成果指標(3)	7							
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	547,405	657,396	595,384	729,397	685,553	特記事項 令和4年度から活動指標に放課後等居場所事業の利用者数を加えることとしました。 また、成果指標は施策体系を見直し、令和4年度から変更しています。	
	人件費	12 千円	1,609,274	1,529,763	1,548,620	1,579,355	1,660,415		
	総事業費 (11+12)	13 千円	2,156,679	2,187,159	2,144,004	2,308,752	2,345,968		
	国・都からの補助金等	14 千円	70,310	47,985	82,864	65,566	93,625		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			0.6	5.6	9.4		
	人件費比率 (12÷13)	16 %	74.6	69.9	72.2	68.4	70.8		

課題・分析	<p>区では、平成26年度以降、区立施設再編整備計画に基づき、児童館が有する各機能をそれぞれの場所で継承し、充実・発展を図る児童館再編による子どもの居場所づくりを進めてきました。その結果、小学生の居場所については、令和4年度は14の小学校で放課後等居場所事業を実施し、利用児童の満足度は目標を上回る94.2%になるなど、一定の成果を挙げています。また、中・高校生の居場所については、令和3年4月に開設したコミュニティふらっと永福において、多目的室等を専用利用できる「ティーンズタイム」を実施するなど、中・高校生の新たな居場所を整備しました。一方、こうした児童館再編の取組には区民に様々なご意見があることから、区では、この間の取組を改めて検証し、今後のより良い子どもの居場所の方向性について検討していくこととしています。次世代育成基金は、基金創設後の11年で延べ5,000人を超える子どもに様々な体験機会を提供するなど成果を挙げており、今後も持続可能な形で基金運用を行っていく必要があります。</p>
施策の成果	<p>小学生の放課後等居場所事業は、令和4年4月から新たに桃三小、井荻小の2校で開始し、小学校全40校中14校で実施しました。安全・安心な居場所や、地域の方とも連携した様々なプログラムを提供することで、利用児童の満足度は目標の85%を上回る94.2%となりました。コミュニティふらっと永福での中・高校生の新たな居場所は、令和4年度は、122組256人の多目的室・楽器練習室の専用利用があったほか、ラウンジの一部の優先席も主に勉強目的の中・高校生の利用が多く見られるなど、中・高校生が日常的に集う居場所として運営しました。学童クラブは、計画に基づき、小学校等への学童クラブ整備を着実に進めるほか、既存学童クラブの育成室の拡張などにより156人の受入枠拡大を図るとともに、福祉サービス第三者評価の受審を開始するなど、運営の質の向上に取り組みました。区では、こうした児童館再編による子どもの居場所づくりについて、改めて、この間の取組を検証し、今後のより良い子どもの居場所の方向性を検討していくこととしており、当事者である子どもの声も聞きながら、効果的な検討を進めていく予定です。また、次世代育成基金について、令和4年度は、基金活用事業を11件実施し、昨年度を大きく上回る673名の子どもに貴重な体験機会を提供することができました。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の子どもの居場所づくりは、これまでの児童館再編の取組の検証結果を踏まえ、区民の声を聴きながらより良い子どもの居場所のあり方を検討し、今後の方針を決定します。それまでの間においても、児童館や子ども・子育てプラザでは引き続き子どもの健やかな成長や子育て力の向上を支援するとともに、放課後等居場所事業では、事業をより安心して利用できるよう、居場所安全確認アプリケーションの導入や学校休業日の実施時間の拡充などの検討を行い、事業の充実を図ります。学童クラブの整備についても、より良い子どもの居場所のあり方を検討していく中でその方向性を定めることとしていますが、学童クラブ需要の増加が見込まれることから、待機児童解消のための量的整備に加え、「おはようタイム」の実施など保護者が働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実を図ります。次世代育成基金については、今後も寄附勧奨の取組を継続しながら、多くの子どもたちに貴重な経験・体験の機会を提供できるよう努めます。また、基金創設から10年以上が経過したことから、その活用方法等についても、より良い成果が得られるように必要に応じて見直しを行います。次期計画においても子どもたちが安心して自由に過ごすことができる居場所の整備を進めるとともに、次世代育成基金を活用した体験や交流ができる機会を通じた育成支援の充実を図っていきます。</p>

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 18】【施策名称 子どもの居場所づくりと育成支援の充実】

金額の単位は千円

(00053)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 230	青少年育成			16,422	37,729	54,151	現状維持
2 231	青少年の自立応援・社会参加事業			12,943	10,157	23,100	推進（拡充）
3 258	児童健全育成事業			301,036	1,401,653	1,702,689	推進（拡充）
4 259	子ども国内交流事業			3,486	9,150	12,636	現状維持
5 264	次世代育成基金の運営			16,344	10,893	27,237	現状維持
6 271	子どもプレーパーク事業			6,104	1,664	7,768	現状維持
7 286	児童青少年センター・児童館等の維持管理			329,218	189,169	518,387	推進（拡充）
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				685,553	1,660,415	2,345,968	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00054)

施策	19	安心して子どもを産み育てられる環境の充実
目標	06	すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち
施策担当課	地域子育て支援課	関係課 保育課 児童青少年課 健康推進課等

施策目標
 出産・子育てを希望するすべての人たちが、安心して子どもを産み育て、子育ての喜びを実感できる社会が実現されています。
 地域の人材や資源を有効に活用し、地域全体で子育て家庭を支える仕組みが築かれています。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	子育て応援券提供サービス数	指標名(1)	子育てが地域に支えられていると感じる割合
算式・指標説明	子育て応援券のサービス提供事業者数	算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(2)	4か月までの乳児の訪問回数	指標名(2)	今後この地域で子育てをしたいと思う親の割合
算式・指標説明	すこやか赤ちゃん訪問件数	算式・指標説明	乳幼児健康診査時アンケート【区民】
指標名(3)	子ども・子育てプラザ数	指標名(3)	パパママ学級受講率
算式・指標説明		算式・指標説明	第一子の出生数に対する受講者数の割合(対象は初産婦)【行政】
指標名(4)	子どもセンター相談件数	指標名(4)	
算式・指標説明	来所者数及び電話対応数	算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績			
活動指標	活動指標(1)	1 件	1,255	1,350	1,266	1,350	1,186		
	活動指標(2)	2 人	3,809	4,600	4,001	4,600	3,772		
	活動指標(3)	3	5	5	5	6	6		
	活動指標(4)	4 件	16,320	19,000	16,339	19,000	15,428		
成果指標	成果指標(1)	5 %	74.5	95.0	74.4	77.0	73.5	85.0%	令和12年度
	成果指標(2)	6 %	96.2	0.0	96.6	97.0	96.4	98.0%	令和12年度
	成果指標(3)	7 %	35.0	57.0	49.8	56.0	61.6	60.0%	令和12年度
	成果指標(4)	8							
	成果指標(5)	9							
	成果指標(6)	10							
施策コスト	事業費	11 千円	9,519,019	10,317,175	9,909,912	9,788,041	9,419,844	特記事項	
	人件費	12 千円	727,473	709,419	714,611	702,163	721,890		
	総事業費(11+12)	13 千円	10,246,492	11,026,594	10,624,523	10,490,204	10,141,734		
	国・都からの補助金等	14 千円	5,875,791	5,999,753	5,821,209	5,877,038	5,276,126		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15 %			3.7	4.9	4.5		
	人件費比率(12÷13)	16 %	7.1	6.4	6.7	6.7	7.1		

課題・分析	<p>地域で安心して妊娠・出産・育児をすることができるよう、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を目的に、令和5年度から開始する「出産・子育て応援事業」の実施を見据え、妊娠時のゆりかご面接や4か月までの乳児訪問などの様々な場面で伴走型相談支援を行いました。事業開始後は、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し充実を図る必要があることに加え、利用者支援を行う子どもセンターや子ども・子育てプラザ（基本型）、保健センター（母子保健型）の連携を強化し、地域で安心して子どもを産み育てられる環境を整える必要があります。</p> <p>子育て応援券については、事業の継続的な利用者・事業者の利便性向上を図るため、評価・検証を行うとともに、サービスの拡充に向けた事業者への働きかけ等に取り組むなど、令和6年度のデジタル版子育て応援券の導入に向け、準備を進めています。</p>
-------	---

施策の成果	<p>ゆりかご面接の実施率は99.4%、すこやか赤ちゃん訪問の実施率は95.3%となるなど、妊娠期から子育て期までの切れ目のない伴走型相談支援を行うことができました。</p> <p>子どもセンターや子ども・子育てプラザ、保健センターでは、相談者を的確に必要なサービスへつなぐために、「利用者支援の手引き」（職員用マニュアル）を作成し、業務の標準化を図りました。乳幼児親子の居場所としては、子ども・子育てプラザが令和4年9月に1所開設し、全6か所となり3か所のつどいの広場と合わせて、乳幼児親子が気軽に集い、交流や育児相談ができる場を提供することにより、子育てに対する不安や孤立感の軽減を図ることができました。また、杉並子育て応援券については、利用者アンケートや事業者ヒアリングなどを実施のうえ、デジタル版子育て応援券と有償応援券購入手続への電子申請・決済の導入を決定し、事業者の選定等の準備を進めました。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、様々な取組の実施方法や回数を変更するなど工夫しながら事業を進めましたが、施策指標の「子育てが地域に支えられていると感じる割合」と「今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合」が微減となりました。地域で子育てを支える取組の更なる充実を図り、安心して子どもを産み育てられることを実感できるような環境整備に引き続き取り組んでいきます。</p>
-------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>子育て家庭の多様化するニーズに対応するため、妊娠届け出時のゆりかご面接、生後4か月までの乳幼児のいる全家庭に保健師や助産師の専門職が訪問するすこやか赤ちゃん訪問など、妊娠期からの切れ目のない伴走型相談支援を実施し、経済的支援と併せた一体的な支援を充実させていきます。</p> <p>子ども・子育てプラザを含む今後の子どもの居場所づくりは、これまでの児童館再編の検証結果を踏まえ、区民の声を聴きながら、今後の方針を決定することとしていますが、それまでの間において、子ども・子育てプラザや子どもセンター、つどいの広場では引き続き、子育てに対する不安や負担を軽減できるように、身近な場所での相談・助言・情報提供を行うとともに、乳幼児親子が気軽に集い、交流ができる場をさらに提供していきます。</p> <p>さらに、子育てを地域で支えあう、子育て応援券事業や一時預かり事業、ファミリー・サポート・センター事業も、利用者の利便性が向上するような仕組みを考え、地域で安心して子育てできる環境のさらなる整備・充実を図ります。</p>
--------------------------	---

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 19】【施策名称 安心して子どもを産み育てられる環境の充実】

金額の単位は千円

(00054)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 226	子ども子育てまちづくりの推進			3,628	31,359	34,987	縮小（廃止）
2 227	一時預かり事業の運営			163,249	7,070	170,319	現状維持
3 228	つどいの広場の運営			15,677	5,739	21,416	現状維持
4 229	子育て応援券			416,604	42,161	458,765	現状維持
5 235	産前・産後支援			20,842	15,196	36,038	現状維持
6 238	児童手当支給			5,694,212	74,732	5,768,944	推進（拡充）
7 242	乳幼児及び義務教育就学児医療費助成			2,270,908	33,014	2,303,922	推進（拡充）
8 253	ファミリー・サポート・センター			14,637	3,743	18,380	現状維持
9 270	子どもセンターの運営			4,181	117,996	122,177	現状維持
10 278	出産・子育て応援交付金			4,353	5,571	9,924	現状維持
11 282	多胎児家庭支援事業			11,426	18,847	30,273	現状維持
12 293	（仮称）子ども・子育てプラザ善福寺の整備			101,739	1,664	103,403	その他
13 303	（仮称）子ども・子育てプラザ下高井戸の整備			38,983	1,664	40,647	その他
14 332	妊産婦等健康診査			335,855	13,003	348,858	推進（拡充）
15 333	乳幼児健康診査等			167,342	187,346	354,688	現状維持
16 334	母子に関する相談・講座等			77,378	145,453	222,831	推進（拡充）
17 335	母子保健医療費等助成			27,326	12,079	39,405	現状維持
18 336	自立支援医療（育成）の給付			727	1,248	1,975	現状維持
19 337	療育医療の給付			0	832	832	現状維持
20 338	安心して妊娠・出産できる環境づくり			50,777	3,173	53,950	現状維持
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				9,419,844	721,890	10,141,734	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00055)

施策	20	働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実
目標	06	すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち
施策担当課	保育課	関係課 子ども家庭部管理課 児童青少年課等

施策目標	保育施設や学童クラブの整備が進み、働きながら安心して子育てできる環境が整っています。 保育施設や学童クラブにおいて、子ども一人ひとりの個性や発達段階に応じた質の高いサービスが提供されています。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名(1)	保育定員数	指標名(1)	保育所等入所待機児童数
算式・指標説明	翌年4月時点の保育定員数	算式・指標説明	【行政】
指標名(2)	延べ在園児童数	指標名(2)	認可保育所等入所決定率
算式・指標説明	延べ在園児童数	算式・指標説明	認可保育所等入所決定者 ÷ 認可保育所等入所申込者【行政】
指標名(3)		指標名(3)	保育所利用者の満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	福祉サービス第三者評価による【区民】
指標名(4)	学童クラブ受入可能枠	指標名(4)	学童クラブ待機児童数
算式・指標説明	4月時点の受入可能枠	算式・指標説明	【行政】
		指標名(5)	学童クラブ利用者の満足度
		算式・指標説明	福祉サービス第三者評価による【区民】
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 人	15,774	16,245	16,404	16,414	16,465	
	活動指標(2)	2 人	144,958	127,000	154,156	135,000	161,073	
	活動指標(3)	3						
	活動指標(4)	4 人	5,316	5,557	5,557	5,975	5,975	
成果指標	成果指標(1)	5 人	0	0	0	0	0	0人 令和12年度
	成果指標(2)	6 %	92.0	0.0	92.0	94.0	96.6	100% 令和12年度
	成果指標(3)	7 %	91.4	0.0 以上	90.0	95.0 以上	93.2	95.0% 以上 令和12年度
	成果指標(4)	8 人	233	0	242	200	280	0人 令和12年度
	成果指標(5)	9 %	0.0	0.0 以上	0.0	95.0 以上	91.4	95.0% 以上 令和12年度
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	32,734,914	37,519,514	35,544,872	37,000,716	35,580,158	特記事項
	人件費	12 千円	8,159,645	7,935,891	7,858,421	7,679,736	7,672,052	
	総事業費 (11+12)	13 千円	40,894,559	45,455,405	43,403,293	44,680,452	43,252,210	
	国・都からの補助金等	14 千円	16,230,398	17,526,867	17,472,402	15,462,228	15,249,113	
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			6.1	1.7	0.3	
	人件費比率 (12÷13)	16 %	20.0	17.5	18.1	17.2	17.7	

課題・分析	<p>待機児童ゼロの6年連続達成及び保育需要の伸びが鈍化している状況を踏まえ、今後は、原則として新たな施設整備は行わないこととする一方、年度途中の認可保育所申込者数は増加していることから、必要なタイミングで保育が受けられる環境の充実を図る必要があります。保育の質の向上では、令和5年度から中核園を7園から10園へ拡大しましたが、更に取組を充実していきます。多様なニーズに対応した保育サービスの推進では、就労等の有無に関わらず保育所を利用したいというニーズへの対応に関しては、国や都の動向を注視しつつ対応策を検討していくことが求められています。</p> <p>学童クラブの整備・充実については、学童クラブの需要増加のため、学童クラブの小学校内等への整備等に取り組んでいますが、小学校児童数の増加により、学校内に学童クラブに供するスペースを見出せないなど、受入枠拡大の取組の即時実施が難しい地域に集中して多くの待機児童が発生する傾向があり、全体として待機児童が増加しています。</p>
施策の成果	<p>認可保育所を核とした施設整備と丁寧な入園調整により令和5年4月に6年連続で「待機児童ゼロ」を実現しました。また、令和7年度以降の区立保育園の民営化については、中核園や障害児指定園等の役割の確実な展開と、保育施設の現在の配置状況を踏まえ、当面、行わないこととしました。</p> <p>保育の質の向上では、区立保育園の園長経験者及び心理専門職が定期的又は随時に保育施設を訪問し、細やかな指導やサポートを行うとともに、中核園の取組により保育施設間の連携・情報共有等の促進や地域の保育施設全体の保育内容の向上を図りました。</p> <p>多様なニーズに対応した保育サービスを推進するため、令和4年度から受け入れ可能な医療的ケアの種別に経営栄養を加えるとともに、令和5年度から喀痰吸引を加えるための検討や職員研修を行いました。これらの取組により、令和4年度の保育園サービス第三者評価による保育所利用者満足度は93.2%と、3.2ポイント上昇し、計画目標値に近い値となりました。</p> <p>学童クラブの整備・充実では、小学校近接地への整備などにより、令和5年4月に向けて、156人受入枠を拡大しましたが、需要の大幅な増加もあり、結果として、待機児童は38名の増となりました。令和4年度に開始した第三者評価では、利用者満足度が目標値を下回りましたが、今後、評価結果を活かした運営に努めるほか、Wi-Fi環境の整備等、利用者の満足度を高める取組を進めていきます。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p> <p>保育需要の伸びは鈍化している状況となっているものの、年度途中の認可保育所等利用申込者数は増加していることから、既存の保育施設に加え、ベビーシッター利用支援の仕組みも活用しながら、必要な時期から保育が受けられる環境の一層の充実を図ります。保育の質の向上では、引き続き保育施設の巡回指導、訪問等を行うとともに、10園に指定拡大した中核園を中心として、コロナ禍で取り組むことが困難だった保育施設間の園庭の相互利用や園児同士の交流の機会を増やすなど地域の保育施設間の一層の連携・情報共有を進めていきます。多様なニーズに対応した保育サービスの推進では、国や都の就労等の有無に依らない保育所等の利用に関する動向に注視し、子どもの育ちと子育て支援の充実の観点から保育所の活用を検討します。また、医療的ケアの受け入れでは、区立保育園において令和6年度から胃ろう及び導尿（男児）の項目追加の準備を進めるとともに、一層の受入拡大を図るための体制整備を進めていきます。</p> <p>学童クラブの整備・充実では、今後の学童クラブの需要予測を踏まえ、引き続き学童クラブの待機児童解消に向けた取組を検討していきます。なお、学童クラブ整備については、今後のより良い子どもの居場所のあり方の検討と合わせて方向性を定めていきます。</p>

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 20】【施策名称 働きながら安心して子育てできる環境の整備・充実】

金額の単位は千円

(00055)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業 主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 244	保育園運営		1,534,029	5,234,758	6,768,787	縮小（廃止）
2 245	障害児保育		7,669	536,007	543,676	推進（拡充）
3 246	保育園等における育児支援		437	1,996	2,433	現状維持
4 247	私立認可保育所		25,191,161	67,625	25,258,786	推進（拡充）
5 248	保育相談・利用調整事務		31,124	178,613	209,737	現状維持
6 249	認証保育所運営		328,885	11,812	340,697	縮小（廃止）
7 250	家庭福祉員		43,301	14,473	57,774	現状維持
8 251	グループ保育室の運営		30,565	7,237	37,802	現状維持
9 252	私立幼稚園等の支援		1,989,287	43,771	2,033,058	推進（拡充）
10 254	病児・病後児保育		150,133	10,074	160,207	推進（拡充）
11 257	学童クラブ事業		1,263,716	821,740	2,085,456	推進（拡充）
12 260	定期利用保育事業等		194,624	8,852	203,476	縮小（廃止）
13 261	杉並区保育室の運営		258,541	218,531	477,072	縮小（廃止）
14 262	子供園運営		79,981	160,147	240,128	推進（拡充）
15 267	地域型保育事業		2,107,587	50,167	2,157,754	現状維持
16 268	巡回指導・巡回訪問		23,504	76,751	100,255	現状維持
17 272	保育施設整備事業者等の選定		1,759	4,492	6,251	縮小（廃止）
18 274	業務継続のための福祉施設等従事者へのPCR検査		0	83	83	その他
19 285	保育施設の維持管理		495,392	151,143	646,535	推進（拡充）
20 289	保育施設建設助成		923,617	30,527	954,144	縮小（廃止）
21 290	保育施設の整備		70,571	11,312	81,883	推進（拡充）
22 291	園庭確保支援		2,683	832	3,515	現状維持
23 292	高円寺東保育園の移転整備		197,051	4,325	201,376	推進（拡充）
24 294	学童クラブの整備		79,740	2,495	82,235	推進（拡充）
25 295	富士見丘小学校学童クラブの整備		34,830	1,664	36,494	その他
26 297	阿佐谷児童館の移転整備		28,359	832	29,191	その他
27 298	久我山東保育園の移転整備		386,328	6,072	392,400	その他
28 299	天沼保育園の移転整備		53,716	4,325	58,041	その他
29 300	高円寺北子供園の改修		9,513	9,732	19,245	その他
30 301	杉二学童クラブの整備		62,055	1,664	63,719	その他
31						
32						
33						
34						
35						
合計			35,580,158	7,672,052	43,252,210	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	業務継続のための福祉施設等従事者へのPCR検査：予算措置はしない予定です。 阿佐谷児童館の移転整備、久我山東保育園の移転整備：令和4年度で事業が終了しました。 富士見丘小学校学童クラブの整備、天沼保育園の移転整備、高円寺北子供園の改修、杉二学童クラブの整備：令和5年度で事業が終了します。
-------------------------	--

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00056)

施策	21	障害児支援の充実と医療的ケア児の支援体制の整備
目標	06	すべての子どもが、自分らしく生きていくことができるまち
施策担当課	障害者施策課	関係課 保育課 児童青少年課 特別支援教育課

施策目標	障害児が、乳幼児期から学校を卒業（18歳まで）するまで切れ目のない支援（療育等）を身近な地域で受けられ、安心して生活をしています。就学前から学齢期までのライフステージに応じて、医療的ケア児に対する支援が切れ目なく適切に行える環境が整っています。
------	--

活動指標		成果指標	
指標名（1）	相談・検査実施延べ件数	指標名（1）	療養が必要な未就学児の区内事業所通所率
算式・指標説明	専門職が行った相談、検査の延べ件数	算式・指標説明	区内事業所通所者数÷通所者数【行政】
指標名（2）	児童発達支援支給決定者数	指標名（2）	保育所等への訪問支援件数
算式・指標説明		算式・指標説明	【行政】
指標名（3）	放課後等デイサービス支給決定者数	指標名（3）	重症心身障害児対応型放課後等デイサービス事業所利用者数
算式・指標説明		算式・指標説明	【行政】
指標名（4）	医療的ケア児の区立施設での受入れ施設数	指標名（4）	
算式・指標説明	医療的ケア児の区立保育園、子供園、学童クラブ、学校での受入れ施設数	算式・指標説明	
		指標名（5）	
		算式・指標説明	
		指標名（6）	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標（1）	1 件	2,350	2,400	2,742	3,000	2,648	
	活動指標（2）	2 人	1,131	1,173	1,156	1,173	1,222	
	活動指標（3）	3 人	452	540	430	540	474	
	活動指標（4）	4 施設	0	0	0	0	7	
成果指標	成果指標（1）	5 %	92.3	0.0	91.6	95.0	93.3	100% 令和12年度
	成果指標（2）	6 件	300	0	328	300	302	450件 令和12年度
	成果指標（3）	7 人	23	0	24	40	33	85人 令和12年度
	成果指標（4）	8						
	成果指標（5）	9						
	成果指標（6）	10						
施策コスト	事業費	11 千円	1,309,939	1,498,005	1,418,892	1,628,949	1,586,528	特記事項 障害児通所支援サービスについて、児童発達支援、放課後等デイサービス事業所の新規開設により利用者が増えたことによる増。活動指標（4）については新たな指標となっており、令和4年度からの実績となっている。
	人件費	12 千円	421,580	411,054	429,789	433,867	446,576	
	総事業費 (11+12)	13 千円	1,731,519	1,909,059	1,848,681	2,062,816	2,033,104	
	国・都からの補助金等	14 千円	868,171	960,204	982,804	988,784	1,061,817	
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			6.8	8.1	10.0	
	人件費比率 (12÷13)	16 %	24.3	21.5	23.2	21.0	22.0	

課題・分析	<p>発達相談件数が増加しており、多様な相談内容に対応するための幅広い専門性や相談技術の向上を図るとともに、療育が必要な児童が速やかに療育先につながるよう、相談体制の充実に努められています。障害児通所施設の利用ニーズに対して、区内の児童発達支援や放課後等デイサービスの事業所が不足しており、療育希望者の受け入れ先の確保を図る必要があります。重症心身障害児を対象とする放課後等デイサービス事業所の新規開設にあたっては、開設意欲のある法人はあるものの、物件の確保が非常に大きな課題となっており、計画的な開設に向けて助成内容を改める必要があります。令和3年9月に医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、保育や教育を受けるための責務が基礎自治体にも求められており、これに応えるための相談体制の整備と施設での受け入れを促進する必要があります。</p>
-------	--

施策の成果	<p>療育が必要な児童が速やかに療育先につながるよう、児童発達支援事業所への運営助成により区民の療育枠を確保するとともに、2事業所が新規開設し、受け入れ体制の確保に努めました。</p> <p>こども発達センターでは、区民、保育園等の地域の子育て機関職員向けにオンデマンド講演会を配信し、発達支援の理解増進に努めました。また、児童発達支援の利用者・家族向けに療育講座を開催し、子どもとの関わりや育児のサポートを行うとともに、医療相談・専門相談により子どもの発達の理解を深め、本人や家族が安心して生活できるよう支援しました。</p> <p>学齢期発達支援事業について、低学年期の子どもの発達を幼児期から就学後へ切れ目なく支援することで、学校生活での課題の解決、地域生活の充実に努めました。</p> <p>医療的ケアが必要な子どもが住み慣れた地域で生活できるよう、保育園・学童クラブ・区立小学校で医療的ケア児の受け入れを実施しました。また、保健・医療・福祉・教育等の各分野が連携し切れ目ない相談体制を整えるため、医療的ケア児等コーディネーターの配置や相談窓口の明確化、関係課による情報共有の取扱いについて整理しました。</p>
-------	--

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性</p> <p>拡充</p> <p>児童発達相談係について、令和6年3月からはウェルファーム杉並内に移転し、発達相談から療育機関等の適切な支援先に速やかにつながるよう、相談体制の充実に努めます。児童発達支援事業所への運営助成により区民の療育枠を確保するとともに、新規事業所の開設を進め、区内の受け入れ体制の充実に努めます。</p> <p>こども発達センターは障害児支援における地域の中核施設として、子どもへの適切な関わりや支援力を向上するための取組や関係機関との連携を強化するための取組を行い、地域の支援力の向上と地域での療育体制の充実に努めます。</p> <p>放課後等デイサービスについて、質の高いサービスを安定して提供できるよう運営を支援します。また、補助内容の充実に努めることで重症心身障害児放課後等デイサービス事業所の運営を支援するとともに、新規事業所の開設を進めます。</p> <p>日常生活及び社会生活を営むために医療的ケアが必要な子どもが、住み慣れた地域の中で生活を継続できるよう、各施設での受け入れ体制を充実させるとともに、医療的ケア児等コーディネーターを中心として保健、医療、福祉、教育等の関係機関が連携し、心身の状況やライフステージに応じた切れ目のない支援に取り組みます。</p>
--------------------------	---

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 21】【施策名称 障害児支援の充実と医療的ケア児の支援体制の整備】

金額の単位は千円

(00056)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 263	障害児通所給付			1,355,596	33,272	1,388,868	推進（拡充）
2 265	障害児利用者負担軽減			233	416	649	現状維持
3 266	障害児発達相談			30,917	80,409	111,326	推進（拡充）
4 269	重症心身障害児通所事業			91,365	4,159	95,524	推進（拡充）
5 273	こども発達センター運営			74,263	299,605	373,868	推進（拡充）
6 281	医療的ケア児の相談支援体制の整備			2,684	8,318	11,002	推進（拡充）
7 288	こども発達センターの維持管理			31,470	20,397	51,867	現状維持
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,586,528	446,576	2,033,104	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--